

# Appendix 2

## スマートシティ取り組み例

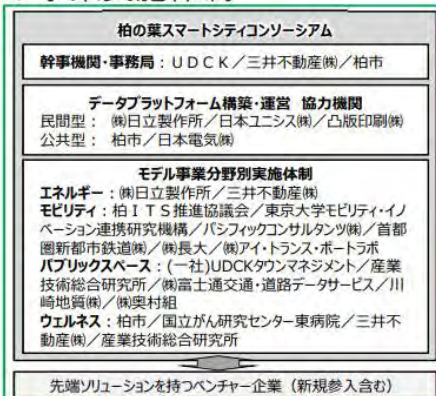
# 柏の葉スマートシティコンソーシアム

- 大学、病院等の施設が駅から2km圏に分散立地しており、区画整理事業の進行に伴う土地利用の更なる促進に向け、施設間のつながり強化、新産業の集積促進、環境負荷の低減、将来も健康に暮らせる居住環境形成が課題。
- 「エネルギー」、「モビリティ」、「パブリックスペース」、「ウェルネス」をキーワードに、データプラットフォームと公・民・学連携のまちづくり体制とを活かし、高密複合空間における環境負荷を抑えたスマートなコンパクトシティライフの具現化を図る。

## ◆対象区域



## ◆事業実施体制



## ◆新技術・データを活用した都市・地域の課題解決の取組



## ◆2019年度の主な取組

- ・柏の葉キャンパス駅～東大柏キャンパス間のシャトルバス（事業用自動車）の一部で自動運転を導入
- ・小型路面下探査装置の開発及びAI解析の実証実験

（出所） [http://www.soumu.go.jp/main\\_content/000537347.pdf](http://www.soumu.go.jp/main_content/000537347.pdf)

# 加古川市のデータ利活用による安全・安心のまちづくり

## 複数分野のデータ利活用

①防犯まちづくり: 見守りカメラ、見守りタグ検知情報、②交通まちづくり: 車載プローブ、バスロケーション、③防災まちづくり: WiFiログ、スマホアプリ、コミュニティアプリ利用ログ

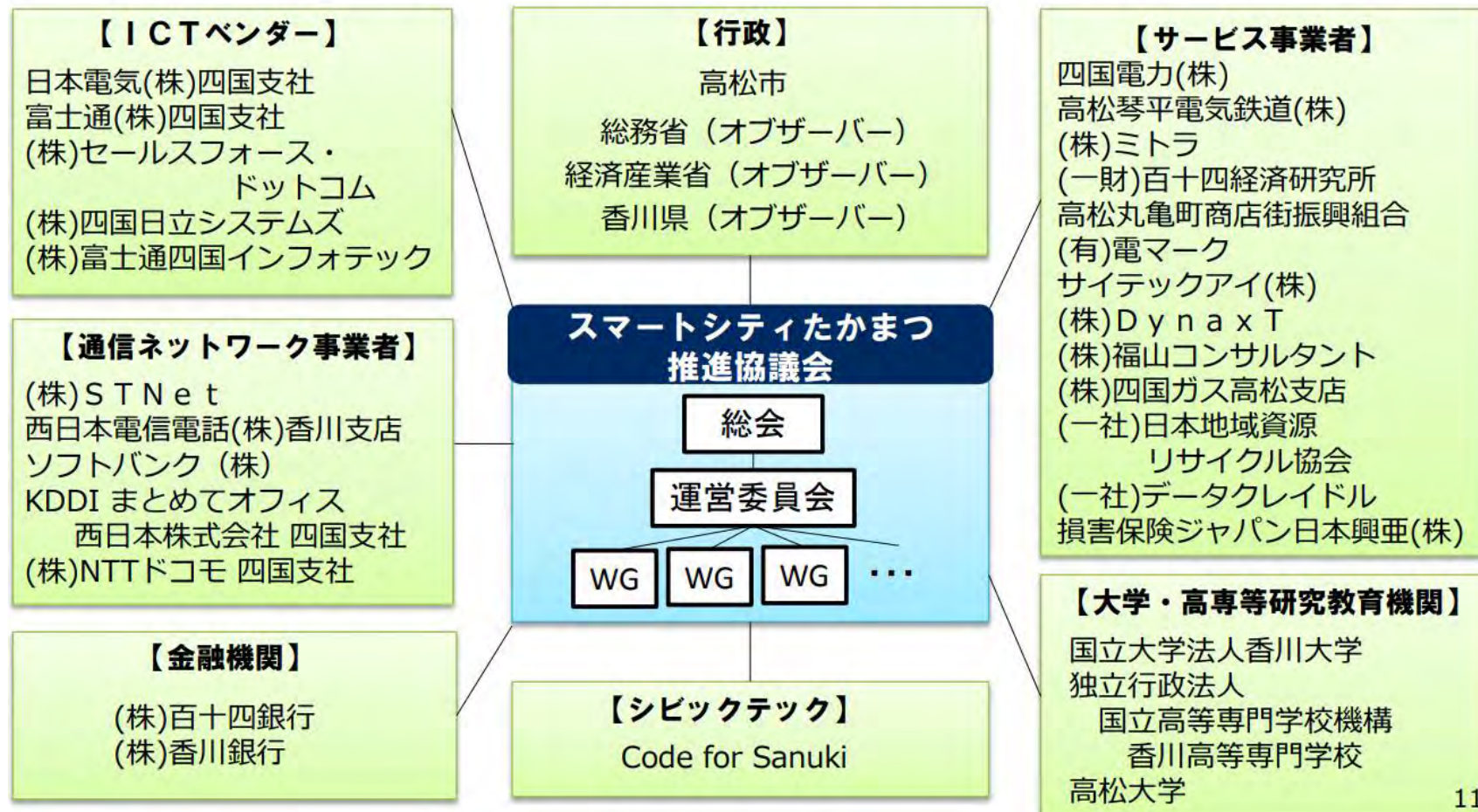


(出所) [http://www.soumu.go.jp/main\\_content/000537347.pdf](http://www.soumu.go.jp/main_content/000537347.pdf)



# スマートシティたかまつ推進協議会の設立

- 平成29年10月に、産学民官の連携を通じて、共通プラットフォームを活用した、官民データの収集・分析による地域課題の解決を目指し、スマートシティたかまつ推進協議会（会長・大西高松市長）を設立。（会員30者、オブザーバー3者（30年4月現在））



（出所）[http://www.soumu.go.jp/main\\_content/000563390.pdf](http://www.soumu.go.jp/main_content/000563390.pdf)

# Appendix 3

## 社団法人スマートシティインスティテュート活動例

バルセロナ市役所よりスマートシティ関連の有識者を招聘し、1/20(月)日経ホールにて開催。680名が参加

※講演者・講演内容・タイムスケジュールは事前の予告なく変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

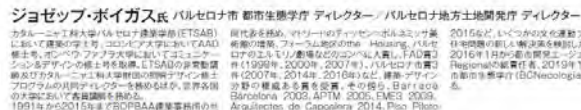
「日本型スマートシティの可能性と海外からの示唆」



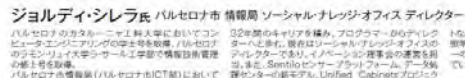
フェリッポ・ロカ氏 バルセロナ市 国際部 ディレクター



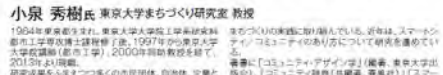
「スマートシチズンが創造する都市モデル」



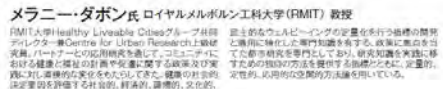
「持続可能な都市／バルセロナが掲げる新ビジョン」



「スマートシティとは何か？ その構築の論点」



「健康で住みやすい都市の指標」





# 日本・フィンランドスマートシティフォーラム(2020/6/29)

## ■ 企画案

今後具体化  
変更の可能性あり

- 2019年世界幸福度ランキング1位のフィンランドでは、近年AI、スマートシティの分野でも人間の幸せを最優先した取り組みで世界中から注目を集める
- 昨今注目を集めるパーソナルデータ活用についても、個人が主導権を持ってパーソナルデータを管理する「Mydata」の考え方が進む
- フォーラムでは、フィンランドから各分野の専門家を招聘し、Mydata、AI、MaaSをテーマに、日本として学ぶべき点、日本で応用する際の課題とポイント等を論点にディスカッションを行います

■ 日時:6月29日(月) 10時~18時

■ 会場:日経ホール

■ 募集開始:4月



# SCI-Japan 海外視察研修

## ■ 現地関係機関と提携し、個別企業単位の出張では得難い、高品質で深い学びを提供

**フィンランド AI・スマートシティ 最新動向視察研修**  
2019年10月21日(月)～10月25日(金) 5日間

**視察のポイント**

2019年世界幸福度ランキング1位のフィンランドでは、近年AIやスマートシティの分野でも最優先した取り組みで世界中から注目を集めています。本研修は、フィンランド政府の人材育成機関であるHAUS<sup>※1</sup>監修の下、フィンランドにおきやスマートシティの取組み、スタートアップの動向等について学ぶ機会を提供します。各分野の専門家・省庁担当者による講義や現地視察を通じて、フィンランド社会における理解を深めるプログラムとなっています。

※1 HAUS (HAUS Finnish Institute of Public Management) とは、フィンランド財務省の管轄機関。国の人事政策、行政改革、公務員研修、人事管理、審判等の組織開発を担当する。フィンランドと海外の省庁・各機関向けにデータリテラシーの研修プログラムやコーチング、コンサルティング、キャリア開発サービス等を提供している。

**募集要項 (抜粋)**

- 期間 2019年10月21日(月)～10月25日(金)【現地集合現地解散 4日間】
- 訪問都市 フィンランド共和国ヘルシンキ市(4泊)
- 利用言語 英語 (一部通訳が付きま)
- 募集人員 30名 (最少催行人員12名)
- 旅行代金 現地集合・現地解散 おひとり様 395,000円  
一般社団法人スマートシティ・インスティテュート/正会員A 128,000円  
(\* )年間1名様限定の会員特典となります。詳しくは別紙を参照してください。

<代金に含まれる費用>

- ・ 視察研修参加費、視察研修中の移動費
- ・ 宿泊費用 (1名様1室利用/利用ホテル: オリジナル・ソコ・ホテル等)
- ・ 食事 (朝食4回、昼食3回、夕食2回)
- (現地までの航空券等の移動費はご参加者負担となります)

※本研修の開催前日10月21日(月)に、同じヘルシンキにて国際会議SEMIC (Semantic Interoperability) が開催される予定です。ご参加される方は前日からのホテル手配も承りますのでご相談ください。

■ 添乗員 同行しません。現地係員がお世話いたします。

■ お申込み締切 2019年9月27日(金) 定員になり次第締め切ります。

**バルセロナ スマートシティ視察研修**  
2019年11月19日(火)～11月22日(金) 4日間

**視察のポイント**

参加者数2万人以上を誇る世界最大級のスマートシティイベント「Smart City Expo World Congress (SCEWC)」視察と、RMITE(ロイヤルメルボルン工科大学のスマートシティ)による特別イベント参加を組合せたプログラムです。バルセロナにおけるデータを活用したスマートシティの事例をご紹介します。

**募集要項 (抜粋)**

- 期間 2019年11月19日(火)～11月22日(金)【現地集合・現地解散 4日間】
- 訪問都市 スペイン王国バルセロナ市
- 利用言語 英語 (通訳が必要な場合はご相談下さい)
- 募集人員 30名 (最少催行人員15名)
- 旅行代金 現地集合・現地解散 おひとり様 275,000円  
一般社団法人スマートシティ・インスティテュート/正会員A 無料(\*1)  
(Smart City Expo World Congressチケットの額 €995 (約120,000円) ) (\*1)年間1名様限定の会員特典を利用された場合。詳しくは別紙を参照ください。  
(\*2)取消料が発生する以前に、お客様がお取消しになった場合、このPassはお客様に返還されません。

<代金に含まれる費用>

- ・ Smart City Expo World Congress入場券 (Congress Pass)
- ・ Expoの見どころについての現地オリエン、RMITE主催の振り返りイベント
- ・ (航空券および現地での移動費、ホテル代はご参加者負担となります)

■ 添乗員 同行しません

■ お申込み締切 2019年11月11日(月) 定員になり次第締め切ります。

> 本視察研修プログラムの一部に、当社法人の柳川代表理事が参加予定です。

代表理事 柳川 範之氏 (東京大学大学院経済学研究科・経済学部 教授) 経歴  
1993年 東京大学大学院経済学研究科 博士課程修了。経済学博士(東京大学)。慶應義塾大学経済学部専任講師。1996年 東京大学大学院経済学研究科助教授、同室教授を経て、2015年より現職。2019年1月より経済財政諮問会議民間有識者議員、NRA総合研究開発機構理事、日本応用経済学会理事、法と経済学協会理事、事業再生実務家協会常務理事、東京大学金融教育研究センター・フロンティア研究フォーラム代表。

一般社団法人スマートシティ・インスティテュートプロデュース

**エストニア デジタル・ガバメント 視察研修**  
2020年5月31日(日)～6月4日(木) 5日間

**視察のポイント**

本視察研修では、デジタル・ガバメントの最先端国家の一つであるエストニアを訪れ、e-Governance Academy (eGA) 監修する研修プログラムに参加します。デジタル・ガバメントの設計・運営に携わった実務家や電子ID・サイバーセキュリティなど各分野の専門家による講義、省庁やスタートアップ関連施設等の視察を通じて、デジタル化の進んだ社会を肌で感じられるプログラムとなっています。

e-Governance Academy (eGA) について:  
エストニア政府、国連開発計画 (UNDP)、オープンソサエティ財団 (OSF) が2002年に共同設立した非営利のシンクタンク兼コンサルティング組織。これまでに90ヶ国以上でデジタルガバメント関連事業に従事。

**募集要項 (抜粋)**

- 期間 2020年5月31日(日)～6月4日(木)【4泊5日】
- 訪問都市 エストニア共和国タリン市
- 利用言語 英語 (通訳はつきません。)
- 募集人員 25名 (最少催行人員 15名)
- 旅行代金 現地集合・現地解散 おひとり様 340,000円  
スマートシティ・インスティテュート正会員A特典利用の場合 68,000円

<代金に含まれる費用>

- ・ 事前勉強会参加費 (4月または5月に東京において開催)
- ・ 視察研修プログラム参加費、視察研修中の移動費
- ・ 宿泊費用 (1名様1室利用/利用ホテル: オリジナル・ソコ・ホテル・ヴィル等)
- ・ 食事 (朝食4回、昼食4回、夕食1回)
- (現地までの航空券等の移動費はご参加者負担となります。)

■ 添乗員 同行しません。現地係員がお世話いたします。

■ お申込み締切 2020年4月10日(金) 定員になり次第締め切ります。



# 会員向け情報発信

## 会員Webサイト

<https://www.sci-japan.or.jp/member/index.html>



## Twitter

[https://twitter.com/SC\\_I\\_Japan](https://twitter.com/SC_I_Japan)



## FaceBook

<https://www.facebook.com/smartcity.institute.japan/>



## メルマガ(月次)

「エストニアデジタルガバメント視察研修レポート」を公開しました

当社団法人が2019年10月14日(月)～18日(金)に実施したエストニアのデジタルガバメント研修レポートを公開しました。

◇エストニア研修レポート

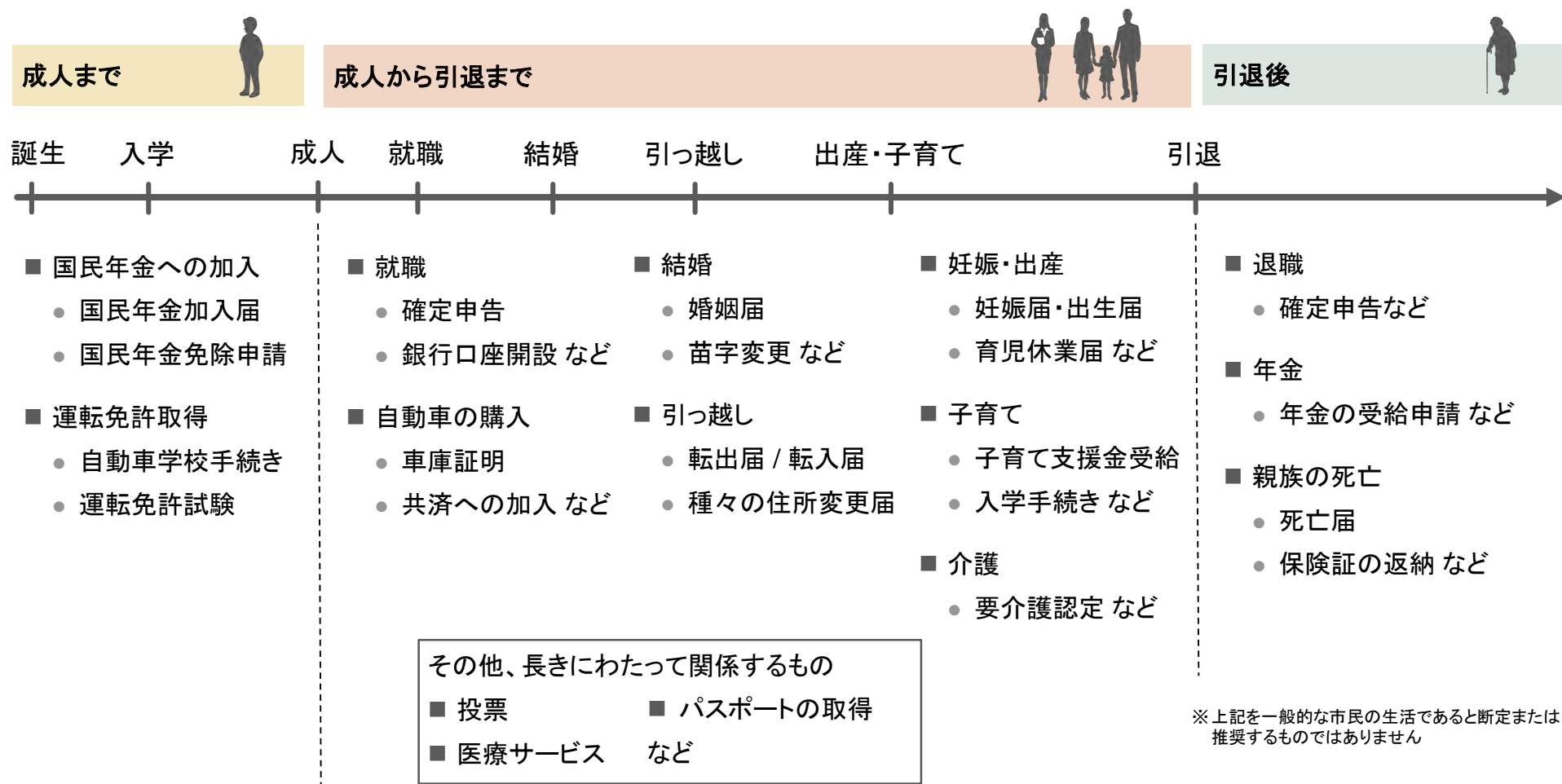
<https://www.sci-japan.or.jp/event/event/estonia201910.html>

海外スマートシティ関連ニュース

海外の先進スマートシティ事例についてご紹介します。  
世界各国の事例について掲載していますので、ぜひご覧ください(本文英文)。  
また、公式 Twitter ([https://twitter.com/SC\\_I\\_Japan](https://twitter.com/SC_I_Japan)) でも国内外の事例を随時  
ぜひフォローお願いします。

# 生涯に本人が行う行政手続き

## ■ 日本における主要な手続き



# 市民の "Well being" を中心に据える

スマートシティ化の先にあるのは、

- 「フリクションレス」
- 人間を中心とした温かい社会





三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社  
[www.murc.jp/](http://www.murc.jp/)